



## 津 奈木町の復旧・復興のために JAあしきた・JNC労働組合水俣支部義援金贈呈

6月15日(火)、令和2年7月豪雨の被災地を支援しようと、JAあしきたとJNC労働組合水俣支部から義援金が手渡されました。JAのサラダ玉ねぎ「サラたまちゃん」をJNCの全国のネットワークを生かし、社員に販売。その売り上げの一部を義援金として寄附したものです。町長は「温かい気持ちのつまった義援金をありがとうございます」とお礼を述べました。



↑ 寄附金を手渡す JA 田畑部会長 (中央) と JNC 労組坂口支部長 (右)

## 無 農薬にこだわる自然栽培米 自然栽培米づくりワークショップ

6月20日(日)、古中尾地区の田んぼで地域おこし協力隊の小野孝弘さんによる「自然栽培米づくりワークショップ」が開かれました。今回行ったのは苗を一本だけで植えていく「疎植一本植え農法」。参加者約10人は「ゴロ」という道具で苗を植える場所に印を付け、一列ずつ植えていきました。秋のワークショップで収穫・精米をして、参加者と一緒に食べる予定です。



↑ ゴロで付けた目印に苗を植えていきました

↓ 改めて自転車に乗る時の心構えなどを学びました



## 自 転車の正しい乗り方を習得 小学校交通安全教室

6月8日(火)、津奈木小学校の児童が自転車の安全な乗り方などを警察官や交通安全母の会から学びました。児童たちは校庭の特設コースで自転車に乗り、信号の横断や前後左右の安全確認などを練習。児童を代表して藤井皇綺さん(丸岡)は「これからは学んだことを生かし、安全に自転車に乗っていきい」と話していました。

↓ 栄養たっぷりの牛乳をぜひ飲んでください



## 父 の日は牛乳で乾杯を 父の日に牛乳を贈ろうキャンペーン

6月18日(金)、ホワイト酪農業協同組合から町へ牛乳が贈られました。父の日の「ちち」と牛乳の「ちち」の語呂を合わせた「父の日には牛乳を贈ろう!」キャンペーンは、県産の牛乳や乳製品の消費拡大を目指して毎年行われています。メッセージカードには「おいしくて体にとても良い牛乳を毎日飲んでください」とつづられていました。

↓ 参加者は各自で育てたハーブなどを丁寧に移し替えていました



## み ンなで育てた玉ねぎが給食に サラダ玉ねぎ学校給食利用

6月1日(火)~18日(金)、小中学校の給食でサラダ玉ねぎを使った給食が提供されました。小学4・5年生が苗の植え付けから収穫まで行ったものも使われていて、地元農産物に親しみ、農業への理解を深めてもらおうと町が企画。4日(金)は野菜たっぷりのポトフが振る舞われ、児童は「玉ねぎが甘く、シャキシャキしておいしい」と話していました。



↑ おいしそうにポトフを食べる児童

## 育 てた植物が作品の一部に 柳幸典つなぎプロジェクト植樹祭

6月6日(日)、柳幸典つなぎプロジェクトからの呼びかけに応じて、各家庭で育てていたハーブを約40人が持ち寄り、旧赤崎小学校のプールサイドに植え付けました。同校プールを改修し、個展「Beyond the Epilogue」で公開の柳幸典氏の新作「入魂の宿」は10月上旬に完成予定です。参加者は「自分が育てた植物がアート作品の一部になるのはうれしい。完成が待ち遠しい」と話していました。



↑ 「入魂の宿」の完成イメージ図

↓ 土を掘ってジャガイモを探す園児



## 大 きなおいもとれたよ 幼稚園じゃがいも収穫体験

5月26日(水)、幼稚園児8人が園内近くの畑でじゃがいもの収穫を体験しました。これは、土に触れて園児に収穫の喜びを味わってもらおうと毎年行われています。園児たちは宝探しのように土の中からじゃがいもを掘り出していき、「あった」「大きい」と歓声を上げていました。じゃがいもは、それぞれ家に持ち帰り、カレーやシチューなどにして食べたそうです。